

1学期を振り返る

<総務部>

※今年度の目標

- ・式典の円滑な運営を目指す。
- ・PTA活動が円滑に運営されるよう、積極的に支援する。
- ・学校案内、学校要覧の資料を創意工夫して作成する。

(1) 年度当初に設定した目標に対して達成できたこと、よかったこと

- ・学校要覧、学校案内ともに、ほぼ予定とおり作成、完了となった。
- ・PTA総会を予定とおり開催し、滞りなく終了した。
- ・入学式を整然と実施できた。

(2) 課題、2学期に向けて

- ・第1回理事会、文化祭（PTA催し物）、下校指導、研修旅行、同窓会総会を滞りなく、実施する。

<教務部>

※今年度の目標

- ・基礎学力の定着・向上とわかる授業の実現（授業時間確保・学び直しの充実）
- ・個に即した学習・教科指導の実現（適正な評価・不振者及び上位者への個別指導）
- ・基本的生活習慣の確立と不用意な遅刻の防止

(1) 年度当初に設定した目標に対して達成できたこと、よかったこと

- ・生徒個々についてみれば、それなりに達成できたと言える面がある。
- ・授業時間の確保に関しては予定通り確保することができたと言えるが、学び直しの充実や上位者への個別指導に関しては手つかず。遅刻防止に向けての対策は今後も各方面で対応していく必要がある。
- ・時間割の作成が毎年厳しくなっていくが、少人数編成の授業を展開し、生徒の理解や授業への取組を少しでも向上させるにはやむを得ないところである。最終的に色々な要望を落とし込んでよい時間割をつくれたと思う。
- ・成績不振者への指導など、これまでの取組が各教科に浸透し、欠点者への課題や補習にきめ細かい対応が見られたと思う。
- ・福祉教養科の授業時間の確保については、各学年、各分掌からの協力により、1学期間のノルマは達成できている。
- ・成績不振者に対して個人票を作成し、担任がその状況を把握することによって、よりの確な個別指導ができるようになった。
- ・一日体験入学の実施に向けて、各分掌と協力して準備を進めている。
- ・業務の分担を明確にし、各々が自己の責任を自覚できた。
- ・若い先生方がよく動いてくれ、全体的によくできた。
- ・定期考査も特に大きな問題もなく機能していた。
- ・特にテストにおける運営はしっかり仕事を覚えることができた。
- ・特別時間割（考査時間割、返却時間割含む）の調整等についても、大方仕組みを覚えることができた。
- ・成績処理については、学年に提出や入力等の呼びかけが少し遅れることがあった。

- ・仕事を覚えるということに関してはまだまだ完璧ではないが、日常的な仕事（教務日誌・朝会日誌・印刷室整備・チャイム設定など）はそれなりに出来るようになった。年度に1回しかないような行事に関しては、把握しきれていないところがあり失敗もあった。
- ・特時等の作成について、色々な先生方と連携してスムーズに出来た。
- ・自習自体が非常に少ないためスムーズに自習監督の割振りが出来た。反面、授業交換が多く、特定の時間にしか交換できないなど時間割上の特性もあり、把握等が大変である。
- ・成績処理に関しては、業務の図書情報部への移管もあり、非常に助かった。
- ・学年の教務内ではお互いに連絡がよく取れ、よい雰囲気である。
- ・自分が何をすべきか、自分から考えられるようになった。
- ・遅刻指導では、生徒と対話することで安易な遅刻・保健室利用を減らすことが出来たと思う。その都度、遅刻や早退について、細やかな指導を継続していくことが重要である。
- ・学年毎に、廊下での入室・着席指導をすることで、チャイムに遅れることは防げた。
- ・評価方法は、教科ごとの評価方法を生徒へ認識させることができた。その後の補習もしっかりと行うことが出来た。
- ・成績不振者への全体指導は、その後の補習等の指導をおこなう上で効果はあると思う。
- ・基本的な生活習慣の確立と授業に臨む姿勢と意欲を身につけさせるために、授業開始前と授業中の着席・私語注意などは毎回行い、ルール作りを心がけることが出来た。

(2) 課題、2学期に向けて

- ・(1)の個々の全体での割合をより大きくすること。
- ・着手及び作業の遅れが少なくない。確認の不備も多く「何を」「何故」確認するのか共通理解が低かった。お互いに声をかけて作業に望み、個々が自覚的に取り組む必要がある。
- ・学級増による影響を速やかに検討する必要もある。
- ・図書情報部との分担については今後も検討していく必要がある。
- ・日計などの集計を確実におこなう部分で、改善点があると思う。日々の取り組みが、忙しさにかまけて少々疎かになっているところがあるので、生徒への細やかな気配りをするためにも日々の細かい部分の集計をしっかりやるべきである。
- ・学年での教務分野について、教務部員からの声かけがもっとなされるべきだと考える。日計の入力がなされていないなどは、その一例であると思う。
- ・学校説明会および入学者選抜に向けて円滑な準備が必要である。
- ・成績不振者の個人票の評価・総括は必要。
- ・福祉教養科を含む確実な授業時間の確保も確実に取り組むべき。
- ・定期考査の準備や自習監督の割振りなど、各自の役割をしっかりとこなせるように部内で互いに声をかけあい、仕事の引継ぎや進捗状況を確認できればより良くなると思う。
- ・1学期はベテランの先生に教えてもらいながら仕事を覚えさせてもらったので、2学期以降は自ら仕事を進められるように努めていきたい。
- ・日計入力には自らもしっかり毎日更新するとともに、学年の中で未入力があれば随時呼びかけていきたい。
- ・1学期にそれなりにできるようになった仕事に関しては、引き続き確認を重ねながらミスのないように努めていきたい。行事や突発的なものに対しても柔軟に対応できるようにしたい。
- ・チャイム着席等がまだまだ出来ていない生徒がいるので、2学期は教務として案を出して取り組んでいきたい。
- ・朝会日誌のコンピュータ化を試みたが、係間の連絡不足で円滑に実施できなかった点は改善す

べきである。

- ・自習監督割振りと朝会日誌係の重複があり、分担作成上、考慮が必要である。
- ・指導要録等の点検・確認が滞る。改善・検討課題である。
- ・先のことを考えて、優先順位や内容など、段取りをつけつつ、その後の仕事や作業に支障を来さないようにしたい。
- ・他の先生方との連絡がスムーズでなく、連携が取れないことがあった。作業の予定をしっかりと確認し、予め声かけをしておくことが大切だった。
- ・起案等まだまだ完全に理解できていない仕事内容も多く、教わりながら、早く一人で出来るようにしたい。
- ・教科書選定等細かなミスが目立った。集中し何度も確認して早く確実に作業を行いたい。
- ・分かりやすい授業を心がけたが、進度に影響が出てしまい、今後の課題である。
- ・授業前と授業中の呼びかけは実行できたが、今だに休み時間と授業へ向かう姿勢の区別を付けられない生徒が多い。
- ・遅刻、欠席を減らすための具体的な対策は実施できなかった。

<進路指導部>

※今年度の目標

- ・「見える進路」（生徒も職員も見通しをもって活動できる進路）を目指す。
- ・「あきらめない進路」（最後まで支援する進路）を目指す
- ・社会人としてふさわしい学力・態度の指導を一層充実させる
- ・キャリア教育を充実させ、社会人になる自覚を育てる

(1) 年度当初に設定した目標に対して達成できたこと、よかったこと

- ・新しい進路指導計画に基づき各学年に対して今まで以上に生徒に対して働きかけをすることができた。成果はまだ不明であるが、今後も引き続き計画に従って生徒に意識付けをさせるように努めていきたい。
- ・組織として動くように心がけており、成果を上げつつある反面、仕事の偏りなどが見られているので、職務の配分の再検討と、有機的かつ融通を持って動かしていきたい。
- ・資料の整理については今までのやり方を改善したので、使いやすくなった反面、係の負担も増えてきているので、今後の活用と職務量の分担を考慮しながら、負担の軽減を図りたい。

(2) 課題、2学期に向けて

- ・新しいことを始めているので、作業が完了しているのかどうか分らなかったところがある。各作業の担当者の職務をより明確化するとともに、作業が完了しているかどうかを全員で確認できるような仕組みを作る必要がある。
- ・特に第2学年は新しいことをずいぶん取り入れているので、十分な準備と学年との連携を密に図っていきたい。
- ・学期の終わりに生徒に成績や出欠を確認させることが今回できていない。2学期に向けて準備をしていきたい。
- ・総合的な学習の時間で活用しているクイック10について、その趣旨が生徒に十分に伝わっているのかが不明である。また、基礎学力の充実について教務との連携を図っていきたい。
- ・キャリア教育が本格的に始まるので、その準備をしっかりと行い、「活動あって中身なし」といわれることがないように努めてまいりたい。
- ・路関係のデータの構築ができていないので、早急に取り組みたい。

<生徒指導部>

※今年度の目標

- ・事故や非行を防止し、生徒が安全で安心して取り組める環境の確立
- ・生活習慣（身だしなみ、あいさつと礼儀、時間を守るなど）の確立
- ・職員の指導に従う体制づくり

(1) 年度当初に設定した目標に対して達成できたこと、よかったこと

- ・本校では学年が中心になって日頃の細かな生徒指導に担任を支える形であたっているが、今年度も引き続き、その体制で行うことができている。生徒指導の多い本校においては、このような体制の維持が非常に大切である。
- ・身だしなみについては、「女子のスカート丈」が課題である。3学年では抜き打ちでスカート検査を行うなどの取組があり、昨年度に比べて集会時でのスカート指導がスムーズになった。切ったスカートを取り上げることも行ってきた。3年女子の中には正しい長さにスカート丈をしている生徒が目立ってきている。以前に比べて少しよくなってきたことを評価しながら、まだまだ短くしている女子生徒も多いので今後の指導を行っていききたい。
- ・以前よりもあいさつをする生徒が増えたという話を聞くようになった。
- ・大きな生徒の問題行動もあったが、それらが明るみに出たことは本校にとって大きい。表面化しない生徒の問題行動については、注意深く生徒の様子を観察し、早期発見と早期対応を目指したい。

(2) 課題、2学期に向けて

- ・「あいさつ」「身だしなみ」「時間」については、これからも生徒の状況を把握しながら推進していく。
- ・整容指導のあとに頭髪が茶色に戻ってしまう生徒が若干おり、整容指導後の指導が大切であり、再登校指導等を使って指導を強化したい。
- ・生徒の自転車事故が発生しており、通学時のイヤホン、携帯操作、安全未確認、広がりなどに関してより一層注意を促す必要がある。
- ・ネットによるトラブルについて1学期も多数の指導を行い、クラスや集会等でも注意を呼び掛けてきたが、実際に生徒の意識の中に指導効果が現れてきているのかが不明である。身だしなみなどの指導と違って目に見えない部分が多く非常に難しい。特に1年生では出身中学校を中心とした仲間関係の影響が強く、悪い方向に作用しているケースもある。本校の生徒への指導や意識改革だけでは改善しにくいいため、出身中学校や地域の協力が必要と考える。
- ・文化祭では、生徒のしっかりした取組を促すとともに、期間中の安全面について注意していく。

<環境健康部>

※今年度の目標

- ・校舎内外の美化に努め、安心・安全な学習環境をつくる。
- ・美化委員会活動を活性化させ、全校生徒に美化意識の向上を図る。
- ・防災訓練をとおして、防災や危機管理についての意識を高める。
- ・健康診断を確実に実施し、保健指導、健康保持の指導を充実する。
- ・組織的な取組により、教育相談機能の向上を図る。

(1) 年度当初に設定した目標に対して達成できたこと、よかったこと

- ・分割授業、多クラス展開が多くある中、健康診断を確実に実施することができた。協力体制のたまものと思う。
- ・先生方と生徒の力を借りて、校舎内がきれいに保たれている。

- ・教育相談の研修会を実施することができた。グループワークも順調にこなすことができた。
- ・日本学生支援機構の予約奨学金の申込み（82名）を無事に終了できた。

(2) 課題 2学期に向けて

- ・環境健康部全員で仕事をおこなう。
- ・教育相談の活用を目指す。
- ・美化委員会活動を活発化させ、委員とともに、校舎内外の美化につとめる。
- ・奨学金業務の割り振りをして、皆で協力しておこなう体制をつくる。

<図書情報部>

※今年度の目標

- ・様々な場面での生徒への読書の指導と、教科に結びついた利用しやすい図書館を目指す。）
- ・視聴覚県警の施設、設備の拡充、及び情報機器の管理と整備を目指す
- ・成績処理、学検成績処理システムの構築と、生徒情報データベースの構築。

(1) 年度当初に設定した目標に対して達成できたこと、よかったこと

(図書関係)

- ・「新着図書案内」、生徒作成によるライブラリーBEWS、図書館にある本の紹介により、生徒の図書館利用を促すことができた。
- ・絵本の読み聞かせ講習会を成功させることができた。

(情報関係)

- ・成績処理システム、要録のプリントアウトシステムを構築し、動かすことができている。
- ・生徒データベースの骨組みができた。
- ・情報機器データベースは、パソコンに関してはほぼ終了。
- ・まちcomiメールの登録者は、例年になく多い。

(2) 課題 2学期に向けて

(図書関係)

- ・利用者は少し増えたが、貸し出しに結びついていないので、もう少し工夫が必要。図書館を授業でつかってもらえるよう働きかける。

(情報関係)

- ・成績処理システムの改良・改善、使いやすくミスしにくいシステムをつくっていく予定。
- ・生徒データベースを完成させる。
- ・情報機器データベースのパソコン以外についてとりまとめる。
- ・成績証明書、卒業生台帳、卒業証明書などのプリントアウトシステムの構築及び入学者選抜の成績システムの構築

<1学年>

※今年度の目標

- ・基本的生活習慣の確率。
- ・基礎学力の定着と学習意欲の向上。
- ・健全な精神とこころの育成。

(1) 年度当初に設定した目標に対して達成できたこと、よかったこと

- ・基本的生活習慣の確立を目指した。遅刻等習慣化することなく登校する生徒が多数いた。一方、中学時代からの不規則な生活習慣を引きずり、なかなか高校生活になじめない者もいた。

- ・学習態度は良好であり，少人数制の授業展開は，今後とも本校の「学び直し」の一環として，すべきことと考える。

(2) 課題，2学期に向けて

- ・男女とも，夏季服装でのYシャツ出しがみられるので，整容指導を強化していきたい。
- ・コミュニケーション能力を構築することに苦手意識をもつ生徒が多く，いまはトラブルはないが，今後成長すべき重要な課題と考える。LHR，道徳等また行事をとおして指導していきたい。

<2学年>

※今年度の目標

- ・基本的生活習慣の確率。
- ・基礎学力の定着と学習意欲の向上。
- ・健全な精神とこころの育成。

(1) 年度当初に設定した目標に対して達成できたこと，よかったこと

- ・わがままを押し通そうとする生徒もいる。職員全体で生徒指導にあたる必要があるが，まだできているとはいえない。
- ・前向きな姿勢で問題解決に臨ませるという目標にはまだ遠い。

(2) 課題，2学期に向けて

- ・報告，連絡，相談をしっかりと，職員全体で指導していくことを推し進めたい。
- ・学年内の各係が責任を持って企画・運営をしえいけるよう，分業，協力の体制を築きたい。1学期は計画的でないことが多すぎた。

<3学年>

※今年度の目標

- ・基本的生活習慣の確率。
- ・基礎学力の充実育成。
- ・進路設計意識の高揚。
- ・HRの充実。
- ・特別活動の活性化。

(1) 年度当初に設定した目標に対して達成できたこと，よかったこと

- ・進路選択に向けて（奨学金も含めて），多くの生徒は前向きに取り組んでいた。
- ・学習にしっかりと取り組む生徒が多くみられた。
- ・3年生になると，学年の多くの生徒が知り合いのため，生徒同士も仲がよく，和やかな雰囲気がある。

(2) 課題，2学期に向けて

- ・欠席，遅刻を減らし，社会人として必要な基本的生活習慣を身につけさせる。
- ・高校生活最後の文化祭・体育祭に，クラス全員で取り組み，思い出に残る行事にする。
- ・進路決定に向けて，決断できていない生徒の後押しをする。